

当初予算の主な事業を、9項目に分類して紹介します

新規の事業は **新規**、充実した事業は **充実**、継続する事業は **継続** で表し、金額は万円単位(切り捨て)で表示しています。

互いを認め合う、ふれあいのまちづくり

安全で安心して暮らせるまちづくり

充実 **“ヒロシマ”に学ぶ平和の旅の実施、世界連邦日本大会の開催 195万円**
市内の中学生による“ヒロシマ”に学ぶ平和の旅の実施や、世界連邦日本大会の本市での開催により、「世界連邦・非核平和都市」宣言に込められた想いを広く発信し、一人ひとりが平和について考える機会とします。

継続 **人権と命を尊重する文化の息づくまちづくりの推進 529万円**
人権擁護委員の活動やヒューマンシネマ・ヒューマンフェスタの開催、人権啓発広報紙の発行など、21世紀を真に平和と人権の世紀とするための人権啓発事業を推進します。

継続 **「イクボス宣言」の実践などによる男女共同参画の推進 475万円**
「イクボス宣言」の実践など、性別にとらわれず、誰もが自分らしく生きられるまちを目指し、「ゆう・あいステッププラン～亀岡市男女共同参画計画～」の具体的施策を推進します。

新規 **避難情報等の収集伝達機能の強化 1,490万円**
災害発生時に必要な情報を迅速かつ確実に提供するため、新型のJアラート受信機に更新するとともに、一斉通報スピーカーを市内に整備し、情報伝達機能の強化を図ることで、スムーズな避難行動につなげます。

充実 **セーフコミュニティ・インターナショナルセーフスクールの推進 1,288万円**
事故やけがなどの外傷予防や安全向上対策を行い、誰もが安全を実感し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。平成30年中のセーフコミュニティ再々認証、インターナショナルセーフスクール再認証を目指し、審査員による本審査を行います。

充実 **交通事故から高齢者の命を守る支援の推進 132万円**
加齢による身体機能や判断力の低下により、自動車の運転に不安を感じる人に運転免許証の返納を支援することで、交通事故のない安全安心なまちづくりを進めます。

健康で元氣あふれるまちづくり

豊かな心と文化を育むまちづくり

新規 **「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」制定記念事業 52万円**
手話を言語とし、障害特性に応じたコミュニケーション手段の利用が促進される環境づくりを目指す「亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション条例」を紹介するとともに、その必要性を広く啓発するため、条例制定記念事業を実施します。

充実 **子ども家庭総合支援拠点の設置・運営 1,210万円**
児童虐待事案に対する迅速、きめ細やかな対応に向け、子ども家庭総合支援拠点を新たに設置し、相談・支援業務を積極的に展開するとともに、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応のための体制を整備します。

充実 **子育て世代包括支援センターの充実 869万円**
子育て世代包括支援センターにおける妊娠、出産、育児に係る相談支援などのスタッフ体制の充実を図ります。また、地域や家庭に訪問する専用車を導入し、アウトリーチ型の相談支援を実施する体制を確保します。

充実 **待機児童解消に向けた取り組みの推進 16億6,802万円**
教育または保育の必要性の認定を受けた児童が保育園や認定こども園に入園し、健全な育成が図れるよう、待機児童の解消に向けた取り組みを進めます。

新規 **生涯学習都市宣言30周年記念事業 137万円**
生涯学習都市宣言30周年と、ガレリアかめおか開館20周年、生涯学習市民大学開学30周年を迎えたことを広く周知し、さらなる生涯学習活動の推進を図ります。

新規 **外国語教育の充実 667万円**
平成32年度から小学校5・6年生に「外国語科」が導入されることに先立ち、専門性を有する支援員を配置するなど、外国語教育の指導充実を図ります。

新規 **充実** **家庭・学校・地域の教育力向上 250万円**
地域と学校との連携・協働のもと、学習習慣の確立と学力向上を図る「地域未来塾」の実施や心の教育の充実により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える体制づくりを進めます。

充実 **放課後児童会の全校・全学年での実施、開設時間の延長 1億7,062万円**
放課後児童会を全小学校・全学年で開設し、平日などにおける午後6時までの開設時間に加え、新たに30分の延長を可能とするなど、児童の健全育成と保護者が安心して就労できる環境を提供します。

新規 **明智光秀像建立に向けた支援 2,000万円**
「謎多き戦国武将、明智光秀像を建立する事業」に対していただきました京都・亀岡ふるさと力向上寄附金(ふるさと納税)を活用し、建立を目指す明智光秀像建立実行委員会に対し支援します。

人と環境にやさしいまちづくり

活力あるにぎわいのまちづくり

新規 **充実** **体育館に空調設備導入など、亀岡運動公園の整備 4,545万円**
亀岡運動公園体育館に空調設備を導入し、利用者の利便性と利用環境の向上を図るとともに、公園施設長寿命化計画に基づき都市公園施設の整備を行い、計画的で適正な公園施設の維持管理を図ります。

継続 **アユモドキの保護・増殖を推進 1,443万円**
「市の魚」であるアユモドキの保護・増殖を図るため、生息環境の改善や生息域の拡大に向けた調査・研究を行うとともに、亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会の保護・保全活動などに対する支援を行います。

継続 **自立型再生可能なエネルギーの普及を促進 185万円**
地球温暖化対策の取り組みとして平成29年度に創設した「亀岡市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金」制度による事業を実施し、自立型再生可能エネルギーの普及を促進します。

継続 **「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクトの促進 1,635万円**
亀岡市の豊かな自然や生物多様性、文化・歴史などの魅力ある地域資源を生かした名所づくりや景観保全を進めるとともに、快適で潤いのある生活環境や美しい景観を創出し、住む人が誇れるまちづくりを促進するための事業を展開します。

新規 **充実** **亀岡牛ブランド力・安定供給の強化推進 667万円**
「肉フェスタ」の開催など、「亀岡牛」のブランド力を一層高めるためのプロモーション活動と、HACCP(ハサップ)手法による衛生管理導入により安全で衛生的な食肉の安定供給体制を整備し、ご当地グルメ食材としての消費拡大を推進します。

充実 **亀岡平和祭保津川市民花火大会の充実 400万円**
亀岡平和祭の一大イベントである保津川市民花火大会の開催日を祝日の「山の日」に設定し、打ち上げ数を増発するとともに、音楽イベントなどを実施することで、さらなるまちのにぎわいと商業および観光振興を図ります。

継続 **「森のステーションかめおか」事業の推進 1,725万円**
付加価値の高い地域の特産品や豊かな自然環境、観光資源を生かし、田舎暮らしなどの素晴らしさを体験できるエリアの新設や、地域の「匠」を紹介する拠点としての機能を高めることで「森のステーションかめおか」のさらなる充実を図ります。

継続 **「森の京都DMO」による観光の推進 1,825万円**
「森の京都」5市町と京都府の連携による「(一社)森の京都地域振興社」(森の京都DMO)を中心に、観光地域づくりの推進、地域のプロモーション活動、情報の一元化・発信、特産品のブランド化推進などを実施します。

快適な生活を支えるまちづくり

効率的で明るい都市経営

充実 **JR千代川駅周辺の整備 5,657万円**
「亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)」の具現化を図るため、鉄道事業者と連携を図り、JR千代川駅のバリアフリー整備工事を行い、安全・安心の歩行空間ネットワークを重視したまちづくりを進めます。

充実 **市民の生活交通の充実とさらなる利便性の向上 1億1,827万円**
市内バス事業者との連携のもと、コミュニティバスやふるさとバスの路線を充実させるとともに、地域の自主交通と連携したデマンド方式運行への補助などを実施し、市内公共交通の利便性の向上、交通空白地域の解消および交通ネットワークの構築などを促進します。

充実 **移住・定住促進施設の開設・運営 3,948万円**
移住希望者が生活体験できるお試し住宅、観光振興を図るための宿泊施設など、本市の良さを活かした移住・定住促進施設を西堅町に開設、運営し、移住・定住者、また観光客の増加を図り、地域活性化につなげます。

充実 **移住・定住の促進 1,119万円**
移住促進策として、情報発信の強化、補助金制度の拡充、相談体制の強化、空き家バンク制度の活用および発信強化を行います。また、少子化対策として婚活イベントを継続実施します。

新規 **市庁舎本館照明設備のLED化 168万円**
経費の節減および低炭素化社会の実現に向け、市庁舎本館の照明を省エネルギーかつ長寿命のLED照明に更新し、電気使用料および二酸化炭素排出量の削減を図ります。

新規 **通年議会の実施 22万円**
本年6月から市議会の会期を概ね1年間とする「通年議会」を導入します。いつでも本会議などを開くことができる体制を整備し、迅速に議案審査ができるようにすることで、より積極的な議会活動を目指します。

充実 **ふるさと納税の推進 3億1,003万円**
ふるさと納税制度を活用して本市の魅力をもっとPRすることで、寄附金の増額による収入の確保と、返礼品として地元産品やサービスなどを提供し、本市の産業振興、地域経済の活性化を図ります。

充実 **亀岡会館および中央公民館の除却 2億2,770万円**
建設後約50年が経過し老朽化が進み、耐震補強などの長寿命化が困難であるため、亀岡会館と中央公民館の除却工事を実施します。

特別会計

継続 **国民健康保険事業 93億200万円**
国民健康保険事業の健全かつ円滑な運営に努めます。また、本年度から都道府県単位の国民健康保険事業となるため、本市は共同保険者として保険給付をはじめ被保険者の健康保持増進、これらの財源に充てるための保険料の徴収などを行います。

継続 **休日診療事業 2,170万円**
日曜日、祝日、振替休日、年末年始における急病の市民に対応するため、休日診療所を開設し、内科および小児科の応急的な診療を行います。

継続 **地域下水道事業 7億7,940万円**
地域下水道の区域で事業を実施し、生活排水の処理を通じて、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図ります。

継続 **介護保険事業 66億5,800万円**
社会全体で介護制度を支えるため、介護保険事業の円滑な実施に努めます。また、一人ひとりの状況に応じた介護予防事業を推進するとともに、地域における高齢期の包括的・継続的なマネジメントを推進します。

継続 **後期高齢者医療事業 9億9,700万円**
75歳以上(一定の障害があると認定された65歳以上75歳未満の人を含む)の高齢者が将来にわたり安心して必要な医療が受けられるようにするため、後期高齢者医療制度の安定的な運営に努めます。

継続 **土地取得事業 1億6,060万円**
都市計画公園「京都・亀岡保津川公園」の整備を推進するため、先行取得した土地の一般会計買戻しによる譲渡などを行います。

継続 **水道事業 30億7,370万円**
本年度から上水道事業と簡易水道事業を統合し、市民生活と都市機能を支えるライフラインとして、安全・安心で良質な水道水の安定供給のために、適切な施設の整備および維持管理、経営の健全化を行います。

継続 **下水道事業 41億4,560万円**
市街化区域およびその周辺地域を中心とする認可区域で事業を実施し、生活排水の処理を通じて、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図ります。

継続 **病院事業 26億500万円**
病院理念に基づき、公共性と経済性を考慮し、効率的な病院経営を行うとともに、高度で良質な医療の提供と地域連携により、市民の皆さんに信頼される市立病院づくりを推進します。